



職者が集まるのは必然をす。ただ、物流業界に就きたい人も一定数はいるはずなので、希望がないわけではない。不安ではない。

流事 今年の物流に関する報道について、日高氏

高広太郎氏（広報）に「サルティンクのP&Rコンサルティン代表。ジャーナリスト」は「これほどまでに物流業界が社会から注目されたこと



日高氏

「物流業界に就職したい人は一定数はいるはず。良くも悪くも、物流業界はかつてないほどに注目されているわけですから、業界が抱える問題にうまく対応できている会社や問題解決に積極的な会社が、メディアを

れている状況をチャートと捉えるべき」という。

「ポジティブに考えれば、物流の2024年問題に関する報道は、物流業界のことを知らない人たち

に物流業界を知ってもらう、またないチャンス。物流が機能しなくなるとみんなが困るから、メディアが2024年問題を報道してくれているわけです」

事故はなくなて下さい。らないので、もしも、もう一つ大故を起すのです。は思っていないので事

コトブキ運輸 チャオヤンタイヤPR ペイントトラック制作

施工シーンSNSで話題に



制作したトラック

コトブキ運輸（永ヤ）をPRする。田和仁社長、愛知県海部郡飛島村）はこれほど、同社が販売している。代理店として取り扱う「チャオヤンタイヤに塗られた側面と

がありました。ネガティブに考えることでしたが、そういう話している。（三村秀寿）

背面のオオカミロゴのインパクトで、社名やタイヤの存在感を強く印象付けるトラックに仕上がりに、

る、東日本梱包工業組合の三浦康英理事長は「2年後にはこの管理士会の総会も第50回を迎えるが、東日本梱包工業組合および日梱連は昨年設立50周年を迎え、今年11月8日に式典を開催す

京都府に初の協業拠点設立

コラボネット協組が続々開催 知識得るセミナー

コラボネット協同講演を行った。

組合（山内秀夫会長、埼玉県所沢市）は18日、Webで参加費無料でオープンセミナーを開催、2つの第二講演はエイチ・

第一講演は、保険代理店の進藤充氏による「事故・ミスを防ぐための③」、

「大満足」と表情をアップしたところ、1週間あまりで再生数が30万回に達した。

トトラックは地元・東海地方をはじめ、関西や北陸など中距離圏を走る。「業界全体にメールを送る意味もある」と話

東日本梱包管

えていただきたい。総会後には会場われ、会員同士のめた。

アイ代表、よ、題、ふ、進、転、た、故、金額